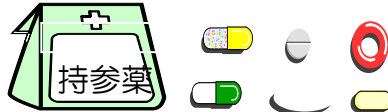


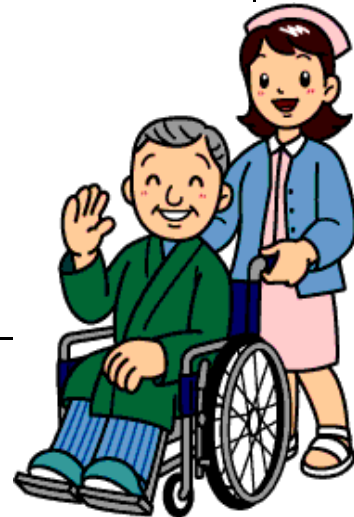
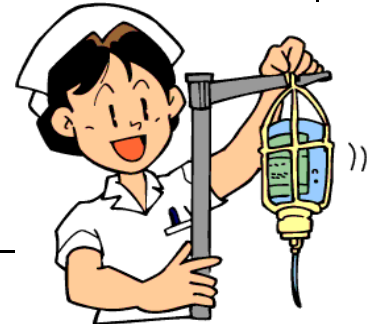
No148 筋間進入前側方人工股関節置換術の手術を受ける方へ①
～経口補水療法～

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月 日		／	／	／	／	
経 過		入院日		入院1日目～手術2日前まで		
目 標		手術に対する不安が最小限である。				
処 置	治 療	・痛みが強い時は、坐薬や痛み止めを使用します。 看護師にお知らせ下さい。 ・以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい。 (目薬や貼り薬・塗り薬も教えて下さい。) ・抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいる場合は、術中術後の出血を減らすために中止します。  〈準備して頂きたい物〉 ①和式の寝衣 2～3枚 ②尿とりパット おむつ ③バスタオル 2～3枚 ・ タオル 2～3枚 ④大人用の紙おむつ ・ 大人用のお尻拭き ⑤ペットボトルに付けられるストロー または 吸い飲み ⑥ボディシャンプー ・ シャンプー ・ リンス ⑦食事の際使用する 箸 ・ スプーン ・ フォーク ⑧洗面用具 (歯ブラシ ・ 歯磨き粉 ・ コップ) ⑨弾性ストッキング 〈手術後に準備して頂きたい物〉 ①リハビリ用のシューズ		・眠れそうにない時には、夜9時までに看護師にお知らせ下さい。 		・指示のあった薬のみ内服します。 ・手術をする方の足に印を付けます。 ・血栓予防の為、手術をしない方の足に、弾性ストッキングを着用します。
		・他の診療科の診察が必要な場合があります。 ・今まで通院していた診療科や予約がある時は、看護師にお知らせ下さい。 ・毎日 14時前後で熱や脈拍などの測定を行ないます。				
入 院 生 活	食 事	・食事は病室または食堂です。 ()食です。 ・治療食の必要な方は適宜変更します。		・21時以降、食事することはできません。 ・飲水は可能です。 (指示のあった飲料水を摂取してもらいます)		・引き続き、食事はできません。 ・AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。 (指示のあった飲料水を摂取してもらいます) ・うがい・洗面はしても構いません。
	活 動	・活動の制限は特にありません。				
	清 潔	リハビリについて ☆手術前日まで理学療法士の指導のもとに筋力訓練等を実施します。 ☆普段からの運動が大切です。良い方の足の曲げ伸ばしをしましょう。 障害の無い部分の筋肉まで衰えてしまうのを防ぎましょう。 ☆ベッド上で動かないことで、血管の中で血の塊ができ血流を阻害してしまう恐れがあります。予防のために、両方の足首をしっかり曲げ伸ばしする運動をしましょう。		・シャワーにお入りください。 (介助が必要な方は、看護師がお手伝いします。) ・爪もきれいになっているか確認しましょう。 ・マニキュアも落してください。		
	リハビリ					
説 明		・手術の前日までに主治医より手術についての説明があります。 ・看護師より入院生活や手術前後の生活についての説明があります。 ・薬剤師が病室に伺い、入院前から使用しているお薬の確認をします。		・リハビリについて理学療法士と作業療法士より説明があります。		

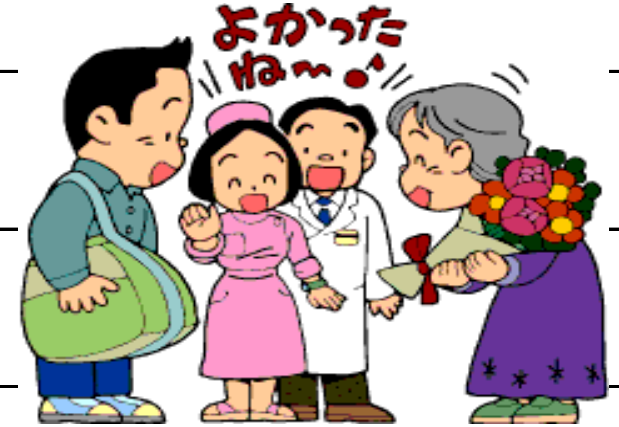
ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

No148 筋間進入前側方人工股関節置換術の手術を受ける方へ②
～経口補水療法～

月 日		／			／	／	／	／	
経 過		手術日(手術後)		手術1日目	手術2日目	手術3日目	手術4日目	手術5～6日目	手術7日目
目 標		麻酔・手術後の経過に問題がない。(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない。)					歩行器を使用した生活 が自立できる。	歩行器を使用した生活が自立できる。	
処 置		・手術後は、病室に戻ってきます。 ・酸素マスク：麻酔科の指示があるまで酸素マスクをします。 ・尿道の管が入ってきます。 ・点滴:2日目の夕方まで持続で行います。 抗生剤は術後帰室後から、8時間ごとに術翌日まで投与します。 ・傷口近くに排液用チューブが入ってきます。 これは、傷の中に血液が溜まらない様にするためです。		手術後の消毒は基本的に必要最小限となります。 ・朝から手術前に飲んでいた薬の内服を再開します。 ・弾性ストッキングは術後7日目まで装着します。		・尿道の管を抜きます。 ・点滴終了後針を抜きます。 ・排液用チューブを抜きます。	・フットポンプを外します。		
治 療		・痛み止めの薬は、点滴の管から持続的に入ります。 痛みが強い時は、痛み止めを追加投与できるボタンを押してください。 ・痛みがある時は、追加で坐薬や注射などの痛み止めを使用できます。看護師に声をおかけください。 ・血栓を予防するために、両足に弾性ストッキングと器械(フットポンプ)を装着します(車椅子に乗れるまで装着します)。 ※自分自身で足首をよく動かすことが、血栓予防に重要です。 ・自己血をとっている人は、自己血輸血を施行します。→		・血栓予防のために抗凝固薬の内服を開始します。 高齢・低体重・腎機能低下がある場合は、抗凝固薬の減量、または中止になります。 ・痛みが続く時には、痛み止めの薬を使用します。 ・夜眠れない時には、睡眠導入剤をお出しします。 看護師に声をおかけください。					
検 査 測 定		・手術後に採血を行ない、貧血の程度を見る事があります。 ・帰室直後より翌日の朝まで、体温・脈・血圧などの測定を行ないます。		・採血を行ないます。 貧血の程度を見る検査です。					・採血を行います。 ・レントゲン検査があります。
入 院 生 活	食 事	・手術後も禁食となります。ただし、飲水は酸素終了後、または医師の許可が出てから可能になります。		・朝から食事が始まります。 ()食					
	活 動	・ベッド上で寝たまま安静となります。 ・体の向きを変えるときなどは看護師がお手伝いします。 ナースコールでお知らせください。		・翌日より安静度に制限は、ありません。 全体重をかけても構いません。 車椅子の乗車も可能です。		・食事を召し上がる時はベットや椅子に腰をかけるようにしましょう。			
	清 潔			・体を拭き、寝巻を着替えたり、日常のお手伝いをします。					・創部を保護したまま、立位でのシャワー浴が可能になります。 最初は看護師がお手伝いします。
	リハビリ	☆曜日によって、進行具合が変更する場合があります。 ご了承ください。		・理学療法士と一緒にベッドサイドで立ったり、座ったりする練習をします。 状態によっては、歩行練習も行います。		・本日よりリハビリセンターで訓練可能です。	・看護師とともにあれば、病棟内にて歩行器を使用できます。		・T字杖での歩行が許可されます。 ・作業療法士と日常生活動作練習を行います。
説 明		ご家族の方へ 手術後医師より手術について説明をいたします。 術中・術後は連絡が取れるようにしてください。 原則、手術室の控室か病棟でお待ちください。							

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

No148 筋間進入前側方人工股関節置換術の手術を受ける方へ③
～経口補水療法～

月 日		／ ～ ／	／	／ ～ ／	／ ～ ／
経 過		手術8～13日目	手術14日目	手術15～20日目	手術21～28日目
目 標		T字杖の活動が安全に行え、退院後の生活に対し不安がない。			
処 置 治 療			・退院に向けて、最終的な日程の調整を行います。 (ご家族の方の予定などを看護師まで教えてください。)		
	・よく歩いている方は、弾性ストッキングは脱ぐことができます。				
検 査 測 定			・採血を行ないます。 ・レントゲン検査があります。		
入 院 生 活	食 事	・歩行器歩行が安定していれば、10階の食堂を利用して頂くことも可能です。 希望される時は、看護師に声をおかけください。			
	活 動	・院内を歩行器で歩行できます。			
	清 潔	・シャワーを使うことができます。 最初は看護師がお手伝いします。 お家の方が、出来る時はご説明します。 シャワー室の使用時間は、入院病棟の看護師にお尋ね下さい。			
	リハビリ				
説 明		ご家族の方へ 時間が許すときは、リハビリでの様子を是非ご覧下さい。 リハビリの時間については、看護師にご確認下さい。			医師より退院後の生活について説明があります。 ・太もとと胸が近づくような股関節を深く曲げることは避けてください。 ・転倒しないように気をつけてください。 次回外来までに創部が赤くなるまたは熱が出るようなことがあれば、すぐに整形外科まで連絡してください。 ・退院の際に必要な薬などの希望がございましたら、医師または看護師にお知らせください。 ・退院前までに 薬剤師より必要な薬についての 説明をします。 ・退院前までに 理学療法士より退院後のリハビリについて説明をします。 ☆気になることがありましたら、お尋ねください。